



認知症になっても ならなくても 住み慣れた地域で暮らすために

朝日新聞厚生文化事業団と広島県府中町社会福祉協議会ではこのほど、認知症の正しい理解や認知症の人との共生を考えるリーフレット「認知症になっても（ならなくても）、住み慣れた府中町で暮らすために」を製作しました。このリーフレットの完成を記念して、認知症の人にやさしい地域づくりをテーマにしたオンライン・フォーラムを開催します。府中町のことを知っている人も知らない人も、認知症のことを知っている人も知らない人も、認知症に少しでも関心がある、すべての方を対象にしたフォーラムです。ご参加をお待ちしています。

日時 **11月20日(土)** 午後1時30分～4時30分

主催  社会福祉法人
府中町社会福祉協議会

 朝日新聞厚生文化事業団

オンライン開催
参加費無料

開会
挨拶

13:30

府中町社会福祉協議会会長 室野拓男

記念
講演

13:35

14:35

「認知症＝人生の終わりじゃない！」

タレントのハリー杉山さんが、お父様の介護を通じて考えた認知症について話します。
(聞き手・丸山法子さん)

ハリー杉山さん

1985年、東京都生まれ。ロンドン大学東洋アフリカ研究学院卒。イギリス人の父と日本人の母をもち、幼少期からイギリスで過ごす。9年前にジャーナリストだった父が認知症になり母と一緒に在宅介護を経験。YouTubeなどで認知症や介護のことを積極的に発信している。Eテレ「もっと伝わる! 即レス英会話」やJ-WAVEのラジオ番組「POP OF THE WORLD」などに出演中。長年にわたるカープファン。



フォーラム

「人が変われば町が変わる」

14:50

16:30

前田隆行さんを交えて、府中町で暮らす認知症の人の家族やケアマネジャーが感じた、地域の様々な課題や解決策について話し合います。進行役は丸山法子さんです。

前田隆行さん

NPO法人町田市つながりの開
理事長

2012年、東京都町田市に福祉や介護のイメージを払拭し、認知症を自分ごととして捉える次世代型のデイサービスを開発、認知症の人が介護保険制度のなかでサービスを利用しながら働き謝礼も受け取れるよう、行政や企業と交渉を重ねてきた。最近は働くことを通じての仲間づくりや、居場所づくりに力を置いて活動を続けている。



日高義幸さん

居宅介護支援事業所
府中みどり園ケアマネジャー

広島県廿日市市出身。大学卒業後、デイスサービス、グループホームや小規模多機能を経て2016年より現職。仕事で大切にしているのは利用者との「笑顔のキャッチボール」。自分自身が元気に笑顔でいることで、利用者や家族に安心感が与えられると考えている。



府中町在住の認知症の人の家族

進行 丸山法子さん

リエゾン地域福祉研究所代表理事

広島県社会福祉協議会で在宅介護をサポートする、地域助け合いの仕組みづくりに取り組み10年前に独立。介護現場の人材育成研修のかたわら、人生100年時代の生き方、暮らし方の提案を発信している。



- 申し込み=朝日新聞厚生文化事業団のホームページから。(右のQRコードからもお申し込みできます)
- 視聴方法=パソコンやスマートフォンでテレビ会議システム Zoom のウェビナー機能を使ってご視聴いただけます。お申し込みいただいた方には事前に、視聴方法や視聴するためのURLをお送りします。

